

「定置網漁業の技術研究会」設置要領

1 目的

定置網漁業は、沿岸漁業の水場の約4割を占める代表的な漁業であり、多くの漁業者を地元で雇用しており、地域の基幹産業をなしている。一方、定置網漁業は、従来から受け身の漁業であり環境に優しい漁業とされてきたが、魚種の選択性が極めて低いことから、積極的な資源管理が難しい。今般の漁業法改正においては、沿岸漁業についても資源の数量管理対象魚種の拡大が図られる中で、定置網漁業についても例外ではなく、対象魚種毎の資源管理への対応が求められている。

定置網漁業の特性として、地域や季節毎のその対象とする魚種や混獲される魚種が多様であり、これらの特性に応じて、資源管理型の選択性の高い漁具の開発や混獲される稚仔魚や小型魚を極力削減する技術が求められている。このため、定置網に関する既存の技術や取組等について整理するとともに、定置網に応用可能な技術についての勉強会を開催し、情報共有・情報発信を図り、新技術の周知徹底・普及を促進する。

2 会議の招集

会議は水産庁長官が招集する。

必要に応じて、委員以外の有識者を招集する。

委員長は委員の互選により選出される。

委員長は必要に応じて委員長代理を指名することができる。

3 委員（別紙）

4 主な議題

- (1) 定置網漁業の技術の現状・取組みについて
- (2) 定置網漁業の今後の課題と方向性について
- (3) その他

5 スケジュール

令和2年8月以降、2回開催。

6 庶務

会議に係る庶務は、水産庁増殖推進部研究指導課において処理する。

定置網漁業の技術研究会 委員等名簿

委員	秋山 清二	国立大学法人東京海洋大学学術研究院 海洋生物資源学部門 准教授
委員	石戸谷 博範	国立大学法人東京大学生産技術研究所 平塚総合海洋実験場 学術支援専門職員
委員	泉澤 宏	有限会社泉澤水産 代表取締役
委員	上野 陽一郎	京都府 農林水産技術センター海洋センター部長
委員	越智 洋介	水産庁 増殖推進部 参事官
委員	北原 茂	長崎県総合水産試験場 漁業資源部海洋資源科 科長
委員	高木 力	国立大学法人北海道大学大学院水産科学研究院 海洋生物資源科学部門海洋資源科学科 教授
委員	玉置 泰司	(一社)日本定置漁業協会 専務理事
委員	野呂 英樹	株式会社ホリエイ 営業部長
委員	長谷 堅信	古野電気株式会社 船用機器事業部開発設計統括部開発部 水産システム開発課 主任技師
委員	日向野 純也	(一社)マリノフォーラム21 技術顧問
委員	平石 一夫	(一社)海洋水産システム協会 専務理事
委員	細川 貴志	日東製網株式会社函館工場 技術部総合網研究課 課長代理
委員	松下 吉樹	国立大学法人長崎大学 総合生産科学域(水産学系) 教授
委員	松平 良介	ホクモウ株式会社 営業部業務課企画課長代理
委員	三浦 秀樹	全国漁業協同組合連合会 常務理事
委員	山崎 慎太郎	国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産技術研究所 環境・応用部門水産工学部漁業生産工学グループ 主幹研究員
委員	和田 雅昭	公立はこだて未来大学 システム情報科学部 教授 マリンIT・ラボ 所長

(敬称略、五十音順)